

HKLIB インストール方法

- ① インストール先に「HKLIB」というライブラリが存在しないことを確認してください。
- ② ダウンロードした ZIP ファイルを任意のフォルダへ展開します。
- ③ 展開した「hklib.savf」を以下のコマンドで IBMi へ転送します。

```
ftp i ホスト名または IP アドレス  
ユーザ ID ・パスワードを入力  
bin  
put HKLIB.SAVF /QSYS.LIB/QGPL.LIB/HKLIB.SAVF  
quit
```

- ④ 5250 エミュレータ（ホストコードページ 939）より IBMi へサインオンし、以下のコマンドを実行します。

```
RSTLIB SAVLIB(HKLIB) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/HKLIB)
```

ライブラリ「HKLIB」が正常にリストアされたことを確認します。

- ⑤ HKLIB/QCLSRC.COMPILE を以下のコマンドでコンパイルし、実行します。

```
CRTCLPGM PGM(HKLIB/COMPILE) SRCFILE(HKLIB/QCLSRC) SRCMBR(COMPILE)
```

※コンパイルは PDM オプション「14」でも可

```
CALL HKLIB/COMPILE
```

この処理により HKLIB 内にモジュール群作成します。

HKLIB アンインストール方法

- ① ライブラリ「HKLIB」を削除するだけです。

サンプルプログラムの導入

- ① インストール先に「HKWEBSVC」、「HKDB」というライブラリ、また IFS に「/www/test」が存在しないことを確認してください。
- ② ダウンロードした ZIP ファイルを任意のフォルダへ展開します。
- ③ 展開した「hkwebsvc.savf」、「test.savf」を以下のコマンドで IBMi へ転送します。

```
ftp i ホスト名または IP アドレス  
ユーザ ID ・ パスワードを入力  
bin  
put HKWEBSVC.SAVF /QSYS.LIB/QGPL.LIB/HKWEBSVC.SAVF  
put HKDB.SAVF /QSYS.LIB/QGPL.LIB/HKDB.SAVF  
put TEST.SAVF /QSYS.LIB/QGPL.LIB/TEST.SAVF  
quit
```

- ④ 5250 エミュレータ（ホストコードページ 939）より IBMi へサインオンし、以下のコマンドを実行します。

```
CHGJOB CCSID(5035)  
RSTLIB SAVLIB(HKWEBSVC) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/HKWEBSVC)  
RSTLIB SAVLIB(HKDB) DEV(*SAVF) SAVF(QGPL/HKDB)  
RST DEV('/QSYS.LIB/QGPL.LIB/TEST.FILE') OBJ((' /www/test' *INCLUDE))
```

ライブラリ「HKWEBSVC」、「/www/test」が正常にリストアされたことを確認します。

- ⑤ 「/www/test」の所有者を変更するため、以下のコマンド実行します。

```
CHGOWN OBJ('/www/test') NEWOWN(QTMHHTTP) SUBTREE(*ALL)
```

- ⑥ HKLIB/QCLSRC.COMPILE を以下のコマンドでコンパイルし、実行します。

```
CRTCLPGM PGM(HKWEBSVC/COMPILE) SRCFILE(HKWEBSVC/QCLSRC)  
SRCMBR(COMPILE)
```

※コンパイルは PDM オプション「14」でも可

```
CALL HKWEBSVC/COMPILE
```

この処理により HKWEBSVC 内のサンプルプログラムをすべてコンパイルします。

HTTP サーバーインスタンスの追加

※サンプルプログラムを動作させるために HTTP サーバーインスタンス「TEST」を作成します。もしインスタンス名を変更したい場合は「TEST または test」を読み替えてください。

- ① 5250 エミュレータ（ホストコードページ 939）より IBMi へサインオンし、以下のコマンドを実行します。

```
ADDPFM FILE(QUSRSYS/QATMHINSTC) MBR(TEST)
```

- ② 以下のコマンドを実行します。

```
UPDDTA FILE(QUSRSYS/QATMHINSTC) MBR(TEST)
```

- ③ 「Instance Data」に以下の内容を入力し、実行キーを押下します。

```
-apache -d /www/test -f conf/httpd.conf
```

- ④ F3 キーを押下すると以下の確認画面が表示されるので「データ入力の終了」が[Y]となっていることを確認して実行キーを押下します。

```
                                     データ入力の終了

処理されたレコード数
追加   . . . . . :           1
変更   . . . . . :           0
削除   . . . . . :           0

選択項目を入力して、実行キーを押してください。
データ入力の終了 . . . . .  Y           Y=YES, N=NO
```

HTTP サーバーインスタンスの追加は以上です。

サンプルプログラムの動作確認

- ① TCP ポート「8083」が使用されていないことを確認します。

【確認手順】

「NETSTAT」コマンドを実行

「3. IPV4 接続状況の処理」を選択

「ローカルポート」に「8083」が存在しないことを確認

※存在した場合は以下の手順

EDTF '/www/test/conf/httpd.conf'

2行目の「Listen *:8083」を任意の番号へ変更して保存

- ② 以下のコマンドで HTTP サーバーインスタンスを起動します。

```
STRTCPSVR SERVER(*HTTP) HTTPSVR(TEST)
```

- ③ 以下のコマンドを実行し、「TEST」という名のジョブが起動していることを確認します。

※当社環境では5つ

```
WRKACTJOB SBS(QHTTPSVR)
```

- ④ クライアントPCにてブラウザを起動し、以下のアドレスへアクセスします。

```
http://iホスト名またはIPアドレス:8083/
```

- ⑤ メニューから「ダッシュボードサンプル」をクリックし、以下の画面が表示されれば成功です。



※サンプルプログラム中の「DEMO3 商品マスタの登録」を動作させるには、ジョブ記

述「QHTTPSVR/QZHBHTTP」の「初期ライブラリー・リスト (INLLIBL)」に「HKDB」を追加する必要があります。CGI をすでに利用している場合、当設定の変更について既存システムへの影響等、十分に精査してからお試しください。